

洗浄対象	電車 海側窓ガラス2面 先頭浜側乗降ドア右側、 同車運転席正面上部外板 他
使用液剤	グローバル-1（酸性液）ECO アルカリクリーナー（アルカリ性液） 付着汚れの状態、付着場所により適宜使用

◆窓ガラス洗浄開始

洗浄前



2か所の窓を対象に作業開始  
両面とも汚れがひどく曇ったような状態、海が見えないなどの状態



施工前のガラスの状態。  
ガラスはほとんど中が見えない状態である。窓ワクにも汚れが残っている。



グローバル-1（酸性液）5倍希釈で開始  
ハケ塗り後ガラス用パットで液を延ばして、汚れを浮き上がらせていく



汚れの状態により、希釈を変えて使用するため、経済的である。

◆洗浄後（グローバル-1 だけ使用）



左側窓ガラス：汚れは除去でき車内が良く見える



右側窓ガラス：完全に汚れ除去できている



左側窓のアップ状態



右側窓のアップ状態

◆車体乗降ドアの洗浄（ドア窓ガラスとドア本体を1つの液剤で洗浄できます）



乗降ドアの状態



ドア窓ガラスは汚れ曇っている  
実際は車内が見えない状態である

ドアの下部も汚れて茶色にくすんでいる洗車機ではブラシは車体に当たっているため、  
ブラシの先端はこの部分まで届かず十分に洗えていない。  
機械洗浄だけでは車体はきれいにならない。

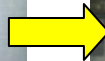
◆ドア洗浄（ドア部もガラスも1液で洗浄できます）

洗浄前

洗浄後



ドアコーナー部に汚れがある



汚れは完全に落ちました